

自民党
総裁選

裏金と古い体質の政治温存

統一協会との癒着

どの候補者も「自民党は変わる」「党改革」といいますが、安倍、菅、岸田と続いた12年間の自民党政治を変える展望を示していません。表紙をつけ変えても、政権のたらい回しに過ぎず、自民党政治は一つも変わりません。

自民党政治を終わらせ、新しい政治に変えましょう

裏金事件は 自民党の組織的犯罪

自民党の裏金議員は80人以上。それにもかかわらず、「裏金事件の徹底解明を」と語る候補者はゼロ。裏金議員の推薦を受けて立候補した候補者や、「新しい政権で対応」とあいまいな態度の候補者もいます。

自民党は、ワイロで政治を歪めている「企業・団体献金」と、企業によるパーティー券購入を存続させた「裏金」を「合法化」しました。どの候補者もこれに賛成しました。

3大臣、政治資金パーティー

国会で裏金事件が問題になっているときに、閣僚の政治資金パーティー開催の自粛を求める「大臣規範」を無視し、武見敬三厚生労働相、鈴木俊一財務相、松本剛明総務相の3閣僚が、7月から8月にかけて政治資金パーティーを相次いで開催。これでは裏金政治はやめられません。



古い自民党の体質と政治露骨に
自民党が「派閥解消」を掲げながら、各候補者は旧派閥の領袖（りょうしゅう）の支持を取り付けるために躍起になり、「派閥のボス詣で」を繰り返しています。これでは、古い自民党の体質と政治を温存させようとするものでしかありません。

裏金事件、統一協会との癒着に切り込まず
岸田文雄首相の退陣表明は反社会的集団・統一協会との組織的な根深い癒着と裏金事件への国民の怒りが契機となったものですが、その根本問題に切り込む候補者は誰もいません。

「改憲」の競い合い
候補者からは、緊急事態条項の創設や憲法9条への自衛隊明記など「改憲」を競い合う発言も相次いでいます。

総裁選でいくら表紙を付け替えても、安倍・菅・岸田政権の12年間の反省と政治の中身の転換がなければ、過去3代の政権の行き詰まりの道を繰り返すだけです。

政治を動かしている 日本共産党

岸田首相が「自民党は生まれ変わらなければならない」と言わなければならないのは、裏金事件でも統一協会との癒着でも「しんぶん赤旗」と日本共産党の徹底追及、そして国民の怒りが追い詰めたからです。自民党政治を終わらせ、新しい政治に変えるために日本共産党は来たるべき総選挙での躍進をめざします。

日本共産党の「経済再生プラン」

- 消費税減税、社会補償の充実
- 教育費の負担軽減
- 企業・団体献金の全面禁止
- 気候危機打開、ジェンダー平等の社会への保険証の存続を

憲法9条を生かした平和の外交ビジョン

裏金事件追及のスクープを連発、岸田首相を追い詰め、政治を動かす「しんぶん赤旗」の申し込みは→

「しんぶん赤旗」をお読みください。●毎日の日刊紙は月3497円。●毎週1回の日曜版は月990円。●電子版も発行しています。

2024年9月号外 日本共産党の見解を紹介します。

革新のひろば

発行 日本共産党神奈川県委員会
住所 横浜市神奈川区西神奈川1-18-12
電話 045(432)2101 FAX 045(432)2103

